

広報 たまちいき

2018
SEP.
vol.64

もくじ

p2 9月は防災月間

p3 多摩地域のおすすめスポット&イベント

p4 さつきクリニック/たまめぐり/たまびいき

p5 多摩のあゆみから/たましん地域文化財団より
/講演&セミナー

p6 多摩らいふ倶楽部のイベント&セミナー

p7 すまいるプラザのセミナー&相談会

たまちいきは毎月1日発行
バックナンバーもWEBで閲覧可能

広報たまちいき

検索

企画・発行/多摩信用金庫 〒190-8681東京都立川市曙町2-8-28 ☎042-526-7764(地域連携支援部) 編集/株式会社けやき出版 〒190-0023東京都立川市柴崎町3-9-6 ☎042-525-9909 1面マップ/もんでんゆうこ



48歳からの再挑戦、銀行員から医師へ 24時間の在宅医療を支える高橋聡さん

在宅療養支援診療所さつきクリニック(国分寺市日吉町)院長の高橋聡さん(72)が医師国家試験に合格したのは63歳の時。48歳で銀行を退職し、医師を目指してから15年後のことでした。「年を重ねるうちに人が好きになり、生きるのが楽しくなりました」と高橋さん。

さつきクリニックの訪問診療エリアは国分寺市を中心に府中、国立、立川、小金井市など半径16km圏内。高橋さんは週3日勤務し、交替で夜間対応もしています。他の日は常勤医や非常勤医によって24時間体制を維持。患者が最期まで安心して暮らせる場所をごせるよう、在宅での療養生活を支えています。

高橋さんは一橋大学法学部卒業後、信託銀行に入社し、融資開拓部門を歩んできました。方向転換を考え始めたのは40代半ば。「それまで無我夢中で働き、24時間仕事のことを考えていました。ある時、先が見えたというか、このままではマンネリだなどと思いました。人生は一度しかない。新しいことに挑戦したいと思いました」。税理士や弁護士などの道も考えましたが、法学部で学び、仕事で法律や税務にも触れていたため、未経験の分野に携わりたいと医師を目指すことにしました。



スタッフと打ち合わせ中の高橋聡院長

48歳で浪人生活へ。妻と子ども3人には「家族に迷惑をかけるな。生活レベルは落とさない」と約束。健康でいて、10年間働かなくても食べていける貯えがあれば何とかならだろうと考えたそうです。予備校では生物、化学、数学、歴史など昔と内容は大き

く変わっていました。DNAなど初めて聞く言葉でした。「毎日、新しい発見の連続で新鮮でした」

一方、仕事の利益目標から解放され、組織を離れると、いかに組織に守られていたかを実感したと言います。「何でも自分でしなければならぬという不安感から、人をよく見るようになり、より理解するために積極的にコミュニケーションを取るうちに、だんだん人が好きになっていきました。それにつれて生きていくのが楽になっていったような気がします」

54歳で杏林大学医学部に合格。入学後は一日も休まず図書館に通いました。「頭に入る量と忘れる量を比較して危機感を感じたこともありました」。定期試験の前にはクラスが一致団結して、年の離れた級友たちと過去問題を分析して備えました。「級友と先生方に支えられた学生生活でした」。在学10年目、2回目の挑戦で医師国家試験に合格。「とりかかるとは山の頂が見えなかった。困難さが分かっていたら挑戦しなかったかもしれません」

卒業後は杏林大学医学部付属病院糖尿病・内分泌代謝科に5年間勤務し、一昨年、クリニックを開院しました。「糖尿病は生活習慣病。患者様の人生観、価値観、家族関係などを理解したうえで、ご本人と相談しながら生活習慣を変えていくことが大切です。慢性疾患を抱えた高齢の方にも充実した人生をごせるようにと診療を行っているうち、在宅療養支援診療所開設に至りました」

現在5名の医師で24時間365日診療を行っています。今後、各診療科の医師を加えて診療の幅を広げ、入院施設のない総合病院を目指したいと話します。「患者様と丁寧なコミュニケーションを取って、2人3脚で疾患に対応していきたいです」

医療法人社団エムティさつきクリニック
国分寺市日吉町3-14-1
042-359-4197
HP <http://fmt-satsuki.jp/>

たまためぐり

もう一つの東京多摩を楽しむ・自転車旅編



サイクリストには多摩川沿いのサイクリングロードが馴染みですが、最近では気の合う仲間と自転車であちをのんびり散策する「ポタリング」が幅広い世代に人気です。奥多摩や檜原村では現地で自転車を借りることができ、豊かな自然をより身近に感じることが出来ます。

美しい山里風景を目にしつつ、自分のペースであちこち寄り道しながら楽しめるのが最大の魅力。本格的なクロスバイクや、初心者でも安心の電動アシスト付きバイクなど、レベルやコースに合わせて自転車を選べ、地元スタッフがコースの相談にも気軽に応じてくれます。

奥多摩湖やダム探訪、美術館や温泉めぐりなど、秋の心地よい風を感じながらお気に入りのサイクリングコースを見つけてみては。

おすすめレンタサイクル店 ※事前予約がおすすめです。
・トレックリング(奥多摩青梅)
・ひのはらんどレンタサイクル(檜原村)



今回紹介した自転車旅をはじめとする30の旅提案「東京多摩を楽しむ30のカード」は、たましんWinセンターや立川駅の東京観光情報センター多摩などで配布中です。多摩地域の商工会議所・商工会、観光協会などにより組織された「多摩観光推進協議会」による「Another Tokyo, TAMA」では、多摩の魅力を発信するプロジェクトを進めています。
HP <https://at-tama.tokyo/> 右上画像提供:トレックリング

たまたびいき

合同会社パッチワークス 薩川良弥さん



河川敷の橋脚などに映画を映し、星空を見ながら映画・飲食と共にその雰囲気を楽しむイベント「ねぶくろシネマ」を企画運営する、合同会社パッチワークスの代表・薩川さん。京王多摩川線近くの多摩川で始まった同イベントは活動を広げ、今では全国各地を飛び回る日々です。そんな薩川さんが今年始めたもう一つの活動が、調布・深大寺前の空き店舗を活用するプロジェクト。8年前までお蕎麦屋さんだった当時の雰囲気は今も残る、木造、築50年超の「いづみや」が、ある日は近所の方々が集まるスナック、またある日は革小物ワークショップの会場や、浴衣の着付教室にもなります。

「この場所に出会った時、自分でお店を考えて作り、お客さんをお呼びするのではなく、地域の方や興味がある人と一緒に考えたこと、皆のやりたいことができる場所にしよう。コミュニティ運営という新しい形のビジネスを模索しています」と話します。

「この掃除や企画会議にも沢山の方が参加してくれて、その中で仲間が増えていきました。古さを活かしながら再生したことで、家主さんも喜んでくれる。自分が生まれ育ち、魅力的だと感じる人がいるのが調布の好きなお店。その魅力を伝えられるような場所をつくってほしい」とのこと。人好きのする柔らかな笑顔が印象的な薩川さんの周りには、今後も自然と人が集まりそうです。



深大寺前の「いづみや」には近所の方もよくふらりと立ち寄るそう。調布市深大寺元町2-33-5(京王線調布駅・つじヶ丘駅・JR三鷹駅・吉祥寺駅からバス「深大寺」か「深大寺入口」下車)

1984年生まれ。調布市出身・在住。合同会社パッチワークス代表社員として、野外の映画上映イベント「ねぶくろシネマ」などを開催するほか、空き家活用・地域活性化を目的としたコミュニティ「空き家をスナックする会」を立ち上げ活動中。facebookのオンラインサロンへ「深大寺いづみや」で検索